

令和4年度 事業報告

1. 法人基本方針と事業内容

【法人理念】

『ぬくもりと心地よさのある施設』
～自分らしく安心して暮らせる場所～

【令和4年 スローガン】

『絆 ～組織力の向上～』

【事業内容】

- ・特別養護老人ホームえんゆうの郷（定員130名）
- ・特別養護老人ホームえんゆうの郷ショートステイ（定員10名）
- ・グループホームなぎさ（定員18名）
- ・デイサービスセンターなぎさ（定員25名）

【法人方針】

社会福祉法人誠光福祉会は、安定した経営基盤を確立させ老人福祉法、介護保険法、障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、各種介護サービスを通じ積極的に地域社会に参画し質の高いサービスを提供することで、利用者から選ばれる地域に根ざした福祉・介護の拠点となることを目指す。

2. 令和4年度の重要課題の取組み

(1) 組織力の向上

- ・法人や部門の目標を共有し、個人目標の設定と取り組みを行う
理念ロゴ改変ワーキングを実施し、新理念及びロゴを決定した。
- ・目標面接を定期的実施し、スタッフとの意見交換を充実させる。
部門毎にBSC（バランススコアカード）を作成。
半期毎の目標面談を定着化し、目標達成や能力向上の支援を行った。
- ・法人への帰属意識を高めるために、職員の提案を拾い上げ実現する。
部門会議、ミーティングから拾い上げた企画や業務改善を実施した。
DX推進委員会や園芸倶楽部の発足、なぎさのリフォーム等を行った。
- ・定年年齢の引き上げを行い、健康に働き続けることができる環境を提供する。
定年制度の変更を行い、他法人よりベテラン人財の確保が促進できた。
令和3年度採用人数 17名（内50歳以上 8名）
令和4年度採用人数 36名（内50歳以上 15名）
- ・法人内で医療連携体制を構築し、サービス提供の最適化を図る。
グループホームの医療連携を法人内で構築した。
グループホームの訪問診療を淡海ふれあい病院に集約し連携強化できた。

(2) 人財育成と介護サービスの充実

- ・外部研修や自己研鑽を積極的に支援し介護のプロフェッショナルを養成する。
外部研修参加人数 79名（前年度 57名）
内部研修参加人数 472名（前年度 449名）
- ・取組み事例発表会を継続して行い主体的な活動と発信力の強化を図る。
3月に第2回取組み事例発表会を開催し、他事業所の参加者もあった。
当日参加者 令和3年度 32名 →令和4年度 45名（外部3名含）
- ・学会等にも積極的に参加し、演題発表も行う。
滋賀県社会福祉学会で、「褥瘡予防とポジショニングについて」を発表。
- ・施設間の人事交流を行い、集団感染等にも柔軟に対応できる体制を整える。
施設間の壁をなくして情報や物品を共有し、感染対策にあたることができた。
新型コロナ感染発生時、誠光会の感染対策チームと連携し対策に努めた。

(3) 地域から選ばれる施設運営

- ・地域に開放された施設として、地域カフェ等にも積極的に協力する。
コロナ禍で令和4年度は実施できなかった（令和5年6月より再開予定）。
- ・新たに開設したInstagramやホームページを使って活動を発信する。
新たになぎさのInstagramも開設し、好評をいただいている。
- ・地域清掃や行事、研修会に積極的に参加し地域の一員としての役割を担う。
地域清掃や健康づくり教室への参加を行った。
- ・感染対策と地域社会との連携を両立し、地域に根ざした法人を目指す。
感染流行期を避けて地域イベントに積極的に参加した。
山田こども園とのプレゼント交換など実施方法を変更して交流を継続した。

3. 令和4年度目標値

(1) 特別養護老人ホーム えんゆうの郷（定員130名）

平均稼働 127.4名/日（稼働率98%）

実績値 124.4名/日（稼働率95.7%）

(2) 特別養護老人ホーム えんゆうの郷ショートステイ（定員10名）

平均稼働 9.2名/日（稼働率92%）

実績値 8.3床/日（稼働率82.9%）

(3) デイサービスセンターなぎさ（定員25名）

平均稼働 20.5名/日（稼働率82%）

実績値 18.8名/日（稼働率75.2%）

(4) グループホームなぎさ（定員18名）

平均稼働 17.6名/日（稼働率98%）

実績値 17.2名/日（稼働率95.7%）